

伊藤圭介生誕200年記念展示会・講演会

主催：名古屋大学附属図書館・附属図書館研究開発室

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

展示会

きんか

錦窠図譜の世界

—幕末・明治の博物誌—

日時：平成15年10月17日[金] ~ 30日[木]

10:00 ~ 17:00 (土・日とも) 23日[木]は休館日

場所：名古屋大学中央図書館4階展示室

入場無料

講演会

「博物誌の時代と伊藤圭介」

日時：平成15年10月18日[土]

13:00 ~ 16:00

場所：名古屋大学中央図書館5階多目的室

講師：磯野直秀 (慶應義塾大学名誉教授) 「日本の博物誌と伊藤圭介」

土井康弘 (国士館大学非常勤講師) 「日本初の理学博士の誕生」

杉山寛行 (名古屋大学大学院教授) 「伊藤圭介と医学」

関連する展示会

「伊藤圭介生誕200年記念展 - 伊藤圭介の生涯とその業績 - 」

平成15年10月29日 ~ 11月24日

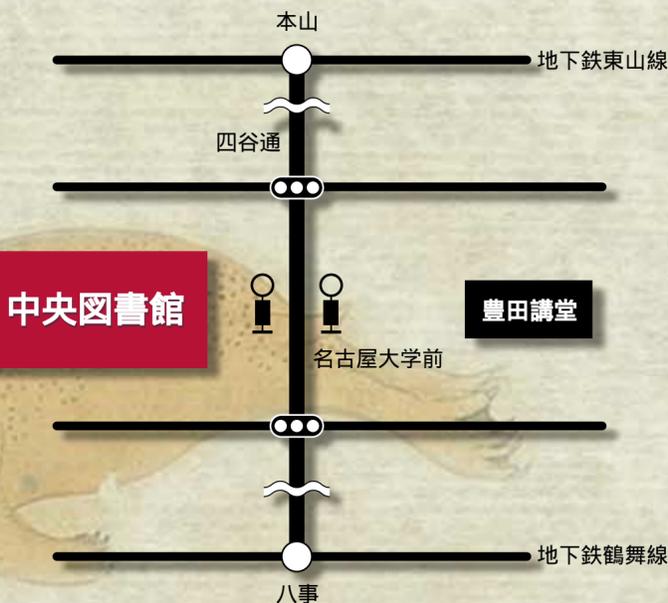
場所：名古屋市東山植物園

【伊藤圭介(いとうけいけい: 1803-1901年)】



幕末・明治前期の植物学者・博物学者。名古屋呉服町に生まれ、長崎に遊学してシーボルトに師事した。のち『泰西本草名疏』出版により、近代的植物分類法を紹介するとともに、おしべ・めしべ・花粉などを

訳出したことで知られる。本業は医師で、名古屋で初めて種痘を実施したほか、尾張藩の洋学教育を主導した。明治になって、名古屋大学の前身である医学校の創設に寄与するとともに、東京に移ってからは、主として小石川植物園に関係し、東京大学教授をつとめ、本邦最初の理学博士となった。錦窠(きんか)と号し、98歳で亡くなるまで研究を続け、『錦窠植物図説』(名古屋大学附属図書館所蔵)など、多数の著作・編纂物を残した。



問い合わせ先 名古屋大学附属図書館：名古屋市千種区不老町(〒464-8601)

TEL 052-789-3667(庶務掛) / FAX 052-789-3693 / 電子メール shomu@nui.nagoya-u.ac.jp / URL http://www.nui.nagoya-u.ac.jp

